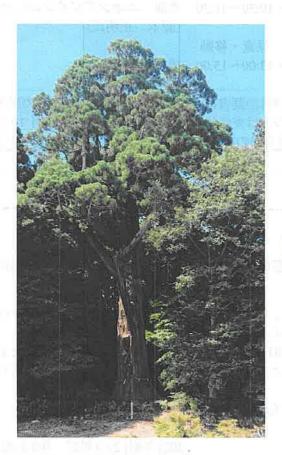


山口県自然観察指導員協議会 機関誌 山口自然観察会 No.112 2021年10月(秋 号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議の予定

第1回役員会 日 時 令和3年11月7日(日) 10時~下松市中央公民館

令和 4 年度 定時総会

- 1 日 時 令和3年11月21日(日)10時~
- 2 会 場 上関町総合文化センター
- 3 日 程 •10:00~10:30 定時総会
 - ・10:30~11:30 講演 ニホンアワサンゴについて (藤本 正明氏)

昼食・移動

- 13:00~15:00 植物観察会 (真崎 久氏)
- 4 申 込 同封の葉書に、定時総会、講演、観察会の出欠の有無を、欠席 の方は委任状に必要事項を記入して11月10日まで提出下さい。 ※会場の詳細な地図等は、P2上段をご覧ください。

表紙説明

飛龍八幡宮の大玉スギ (国の天然記念物 周南市須々万本郷)

高さ34m、根元周囲16.4m、樹齢約1200年。枝張りの姿が玉のように見えることから名づけられた。

本年8月10日、2本の枝(直径1.5mと0.7m、長さはともに15.5m)が折れた。折れた後の姿は、太い幹が大地にどっしりと根付いている様子がよくわかる。

いつまでも健全な姿でいてほしいものです。

2021年8月29日撮影 第3支部 中村 義博会員

みどりの風 掲示板

定時総会 今秋 上関町で 会いきしょう



会場

上関町総合文化センター

Tel. 0820-62-1460

道の駅 上関海峡の隣です。

↓の所です。

第3支部行事参加者募集のお知らせ

2021年10月3日(日) ホタルの里ミュージアム見学・化石採集会

10:00 集合 ほたるの里ミュージアム (午前中) 見学、講演

自然の楽しみ方:川野敬介学芸員

12:00~12:50 昼食 (ミュージアム or 道の駅)

化石採集現地移動 13:00~14:30 (午後)採集会:中生代ジュラ紀の化石

海生生物:アンモナイト、二枚貝、巻貝サンゴ、ウミユリなど

植物化石:シダ、ソテツ、イチョウなど

14:45 解散 (予定)

※参加希望者は、事前に連絡をお願いします。

第 3 支部 增野支部長:携帯 090-8997-3368 kmashino@is4.so-net.ne.jp

安地山・小五郎山の保全活動及び植生調査のお誘い

山口県自然観察指導員協議会

定点観測を行っている寂地山縦走路と小五郎山金山谷ルート(登山道)の点検整備と植生調査を下記の要領で行います。来春も点検整備を行って、植物(カタクリ等)観察のシーズンを迎えたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

〇 家地山

日 時 10月16日(土) 9:00~16:00

集合 9:00 寂地峡入口駐車場

※緑のスタッフジャンバー目印

予備日 10月17日(日) 9:00~16:00

〇 小五郎山

日 時 10月23日(土) 8:00~17:00

集 合 8:00 錦川清流線錦町駅

※緑のスタッフジャンバー目印

予備日 10月24日(日) 8:00~17:00

持参物 弁当、お茶、タオル、軍手、雨具、のこぎり、鎌

注意事項 ・スズメバチ対策…黒い服装は不可

・保険の対応は各自でお願いします。

・参加希望者は、前日までに下記へ連絡ください。

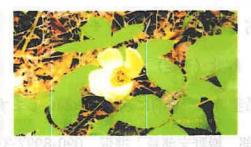
※連絡先 大田 Ta・fax 0833-46-0103

携 帯 090-1189-8769

新聞、中見「お印字」 こてジーエ:屋のようは「本動の口口







ヤマシャクヤク

秘境 金郷渓」への陸上ルート (最終回)

追伸4

0

6月23日、残りの作業をするため金郷渓へ行った。9:45から歩き始めた。12:20に 猿渓瀑布に到着して昼食にした。13;00に作業を開始した。今回の最大の目的は枯れて 道を塞いでいる大木の処理である(左下)。









13:40 に作業を終えた。なんとか通れるようにした(上)。

次は木が余り大きく無かったので早く済んだ。 14:10 江毛カ郎堰の毛前の苦

14:10 江毛九郎堰の手前の昔 建物のあった所に着いた。木を切 って対岸を見えやすくした。

この反対側に水力発電の大きなパイプがある。

この広場に水力発電所があったようだ。14:45 に作業を終了して帰途についた。途中歩きにくいところを2カ所、木を切って橋のような物を作り、通りやすくした(上右)。









18:15 に駐車場に戻った。所要時間 8 時間 30 分だった。今回 金郷渓は案内をしてもらった後、4 回作業に来た。道はかな り良くなったので、怪我をしたり道に迷ったりする可能性は かなり少なくなったと思う。県内では余り知られていない秘 境なので、興味のある人は挑戦してみて欲しい。見物するだ けなら6 時間で戻って来られると思う。



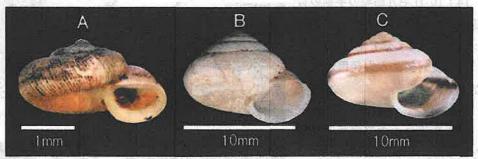
追伸 永井会員の手記は、KRY山口放送 夕方の ニュース番組で紹介(放送)されました。

本部・第3支部合同活動報告 かたつむり観察会・豊北町

令和3年6月28日(日)

数日前まで大雨の予報で、小雨程度なら実施する心積りでいましたが、当日は晴天。雨天後で格好のかたつむり観察日和になりました。今回は本部との共催行事ということで、県西部の豊北町を観察会場に設定しました。遠路にもかかわらず各地より14名の参加があり、気をよくしてスタートしました。

最初は、角島大橋を渡り、角島東部の海岸の藪に入り、豊北町を中心に生息する大形のムシオイガイの仲間、オオピルスブリムシオイガイ(仮称)を観察しました。最初は目が慣れず殻の直径約3mmの微小な貝を、参加者は目を皿にして探しました。1個体が見つかるとお互いに見せ合って、次々に採集をすることができました。その場所では、ほかにツクシマイマイ、ウスカワマイマイ、オカチョウイジガイ、スグヒダギセル、シイボルトコギセルなどを採集、



(A:オオピルスプリムシオイガイ、B:キュウシュウシロマイマイ C:リシケオトメマイマイ)

観察しました。その後、つのしま自然館に行き、近くの藪に繁殖する外来種・オオクビキレガイを観察しました。本種は、20年ほど前に宇部市内で発見されて、以後急速に各地に拡大し、現在では県内のほとんどの地域で見かけることができます。 花や野菜を食害し、効果的な駆除法がなく困った状態になっています。

第5支部の植田支部長さんのご配慮で、つのしま自然館で昼食をとりました。 昼食後、天井に吊り下げ展示されたツノシマクジラの全身骨格のレプリカ、近海 の貝や海浜植物標本、解説パネル等を見学しました。解説によるとツノシマクジ ラは、1998年角島近海で漁船に衝突したクジラの死骸が、新種記載のきかっ けになったそうです。館内では、第5支部の松田真紀子さんの海浜植物の写真パネ ルが展示してあり、観察会に参加された松田さんより、角島の海浜植物・海浜小動 物の説明を聞くことができました。その後、短時間でしたが近くの大浜海岸に出て、 打ち上げられた海藻や砂上に生活する海浜性の昆虫を観察しました。

午後からは、場所を移動し、神田・鍋島海岸に行きました。ここで、かつて長州 藩で盛んに行われたたたら製鉄に使用された砂鉄の堆積層を見学する予定でしたが、 残念ながら潮の状態が悪く、観察場所に渡ることができませんでした。海岸の浜と 黒い堆積層を写真で紹介します。機会があれば現地でご覧ください。たたら製鉄は 島根県の石見や奥出雲地方が中心で、島根県に行くと中国山地沿いに砂鉄の採取地 が見られ、石見や浜田の海岸では砂鉄が黒い層をつくって堆積しているのが観察で きます。

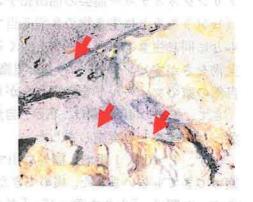
気を取り直して、次の観察場所・神田岬に向かいました。神田岬では、思った以上に林床の乾燥化が進み、堆積層も薄く、期待したほどのかたつむり観察ができませんでした。ツクシマイマイ、コベソマイマイ、ナミヒメベッコウなどの死殼をみつけた参加者もおられました。

今から30年以上も前、特牛港から船で角島に渡り、歩きながら島の中をかたつむり調査や観察をしていた頃に比べて、島の自然環境が随分と変わりました。橋ができ、直接、短時間で本土へ行くことが可能となり、島の人々の生活は快適になったことと思います。しかし、反面、多くの人が自動車を使って出入りすることとなり、かつての島の状況は激変しました。かたつむりの視点でみると、島全体が明るく、乾燥して棲みづらくなってきたと言えます。今後、島の自然環境はどのように変化していくのでしょうか。

遠路にもかかわらず観察会に参加していただいた皆さん、お疲れ様でした。







(左上・下: 貝や昆虫を観察する参加者 右上: 黒い層をなす砂鉄下: 浜に層状に堆積した砂鉄)



第 42 回 山口県緑の少年隊等交歓大会に参加して 於:国立山口徳地青少年自然の家

第3支部 中村 義博

令和3年8月6日(金)、山口県緑の少年隊等交歓大会が開催され、 自然環境学習の講師(山口県自然観察指導員協議会派遣)として参加しました。この緑の少年隊等交歓大会は毎年開催さているものです。県内の緑の少年隊や愛鳥モデル校が一堂に会し、自然の中での体験学習や共同生活を行うことにより、ふるさとの自然を大切にする心豊かな人間性を持つ自然保護活動のリーダーを育成することが目的とされています。本年は、4団体17人の小学生の参加がありました。

午前中は、ネイチャーゲームが実施されました。講師は、山口県シェアリングネイチャー協会の福田和子さんと廣田謹子さんです。「ノーズ(ヒントをもとに生き物の名前を当てる)」、「この指とまれ(ヒントをもとに同じ生き物のグループをつくる)」、「フィールドビンゴ(自然の宝物をさがすビンゴゲーム)」を実施されました。子供たちは、青少年自然の家のフィールドを満喫しながら自然とふれあっていました。

さて、午後の40分間は、私が、自然環境学習の内容として、「樹木の葉っぱの観察」を実施しました。

まず、2~3人1組で、屋外に出て、いろんな種類の葉っぱを10枚集めてきてもらいました。集めてきた葉っぱを使って、ジャンケンをします。お題は、「大きな葉っぱ」「ギザギザのある葉っぱ」「かわいい葉っぱ」などです。この葉っぱジャンケンは樹木の葉に興味をもってもらうためです。

続いて、あらかじめ机の上に用意しておいたいろんな種類の葉っぱ を観察しました。「葉の形・葉のつき方・葉のふちの形・落葉と常緑」 などの項目ごとに解説をしました。小学生には少し難しかったかも知 れませんが、特徴を捉えるためのポイントを理解してもらえればと思 いました。

最後に、魚拓ならぬ「葉拓」をしました。自分の好きな葉っぱを1枚 机の上に置きます。その上にコピー用紙を置きます。用紙の上から色鉛 筆でこすっていきます。すると、葉っぱの形が浮かび上がってきます。

じょうずにこすると、葉脈もきれいに出てきます。みなさんも試してみ てはいかがでしょうか?

まとめとして、今日、みんなが思ったとこと、感じたことを大切にし て、自然に親しんでほしいと締めくくりました。

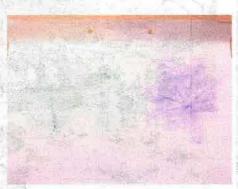
自然環境学習のあと、子供たちは徳地アドベンチャープログラムを 体験して仲間との交流をしました。

今回の緑の少年隊等交歓大会は、夏休みを利用して子供たちが自然 に触れ合えるとてもよい機会だと思いました。今後も続けていってほ しいものです。



集合写

葉っぱの観察



拓 葉



葉っぱジャンケン

環境博士入門(下松市の川 その18) 切戸川の自然

下松市 (第2支部) 大田 和彦

令和3年7月25日(日)いいまちつくろう創星倶楽部主催、下松市教育委員会 後援、山口県自然観察指導員協議会・Kビジョン(株)・あかい坊協力で、18回 目の切戸川の自然観察会が好天の下行われた。参加者は、子ども40名、保護者3 1名、ボランティアの久保中学生11名、スタッフ14名の計96名だった。

当日、9時下松市立久保小学校グランドに集合して開会式の後、観察を開始した。5分程歩いて、最初の地点では、カゲロウやサワガニなどの水生生物を観察し、川の水質階級を調べた。調査結果を別表に示す。休憩の後、ハエ取りビンで魚を捕るようすを観察して、10分歩いた次の地点で、川に入って生物を観察したり採集したりした。ここでは、カワムツ、ドンコなどが見られた。ここは、川底は岩盤で、水深は浅く、子供たちは喜々として観察や採集に取り組んでいた。子ども達には、このような体験を存分にさせたいものである。その後、ここで各自が採集したものを大型の水槽に入れて同定を行った。観察された生物は、上記のもの以外に、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビケラ、オオアメンボ、スジエビ、モクズガニ、ヌマガエルなどがあった。水質階級は、Iの「きれいな水」とIIの「ややきれいな水」と判定された。平成29年はIの「きれいな水」だったので少しきたなくなっている。生物の種類数は変わらないが、例年いたメダカやドジョウがいなかった。今後は、これ以上きたなくならないようきれいな水を維持していきたいものである。





47		X J WS-HERRY	F	129年	7月28	Ħ	jd,	R 3 年	三7月2	2 5	
	1	アミカ	TE TO	de Ele	U- course		0.00	i paral		d -	
水	2	ウズムシ		(0	-150	E IT IT		0	Part I	
質階	3	カワゲラ					AL NATION X 2 1 2				
	4	サワガニ	g11517	Alt	O LI RII	200	OF THE PROPERTY.				
級	5	ナガレトビケラ	B.		C	4.45	a ii d	ALUE.		(B)	
1	6	ヒラタカゲロウ	VBU	CLA.		7-11	Ting	13	0		
m K	7	プコマモ、ベルマルコ油	O F	-4	Hay	J	130	10.2;	F & 5	TAN	
	8	ヘビトンボ	ALC	15	日文	A) II.	天.	y æy	보, 보	
V.C	9	ヤマトビケラ	Sk B	3.20	I I	17	ME	THE.	.XJn	Hite	
21 1	10	ヨコエビ	BI FI	1271) pie li	27.72	Della	ALSI.	41.0	111437	
0.5	1 1	オオシマトビケラ	7	Windsen.			A. 74	Fi /III.	P. W. S. 200	14.00	
水	12	カワニナ	0				TANGOLD OF THE PARTY				
質階	13	ゲンジボタル									
	1 4	コオニヤンマ	0				0				
級	1 5	コガタシマトビケラ									
П	16	イキマキガイ			E ALTRA			in a str	Barrier.	MARKET TO	
Ī	17	ヒラタドロムシ	0								
	18	ヤマトシジミ	A STAFFIE				0				
Ì	19	イソコツプムシ		e a		1000	114	ALC: N		3. (4)	
水	20	ミズムシ		3.44			d		MY (C.)		
質	21	タニシ	IE.K			100					
階	2 2	ニホンドロソコエビ		31				341			
級	23	ヒル							0		
П	24	ミズカマキリ	0				because o				
水	2 5	セスジユスリカ			1						
質	26	アメリカザリガニ			III CONTRACTOR						
階	2 7	エラミミズ						17-17-17-17-17			
級	28	サカマキガイ									
IV	29	チョウバエ		- 0,							
水質	階級	水質階級	I	П	Ш	IV	I	п	Ш	IV	
の 判定		1. 〇印と●印の個数	4	3	1	0	3	3	2	0	
		2. ●の個数	2	0	0	0	1	1	0	0	
		3. 合計 (1+2)	6	3	1	0	4	4	2	0	
	この地点	京の水質階級は		I	-	です		I	П	です	

●一番目、二番目に多かったもの

長門市立日置小学校水辺の教室に参加して

大田和彦

6月28日(月)自然観察指導員等派遣事業で、広瀬さん、植田さんの3人が長門 市立日置小学校水辺の教室に参加しました。参加者は児童4、5年生39名と保護 者15名、教師2名、地域の協力者3名の計62名でした。

はじめ指標生物について説明した後、学校から歩いて5分くらいの現地(掛淵川) に移動し、4年生と5年生とに分かれて生物採集観察をしました。子供たちは好天 に恵まれ嬉々として活動していました。大きなウシガエルやモクズガニも見つかり、 初めて見る子はびっくりしていました。その他にカワムツ、ヨシノボリ、テナガエ ビ、ヌカエビ、スジエビ、ハグロトンボのヤゴ等が見られました。

川の水は、透明で濁りやにおいもなくきれいに見えましたが、水質の判定は意外にもⅢの「きたない水」となりました。原因は、200メートル下流に堰があるため水の流れがあまりないこととこの地域は平野部で川の勾配がほとんどなく流速が小さいからと考えられます。



掛淵川での活動の様子



教室で活動したことを まとめているところ

水生生物による水質判定

長門市立日置小学校

Hod (s	ENGRAL EPHIORICO LEO TR	R	3年6	月2	1 F			月2		
	アミカ	44 8 5	5-0	71 2		7.47	0 70	73 2	<u> </u>	
水 2		10 Bil 1	÷.0.	FFW.	S. ISB		A FILE	9.04	1007	
質 3		N 100 13	a lite o	47.161	200		344,050		2102.3	
階 4								11111111		
級 5		+		- 11	1415	5 C) -	11/1/14		1.50	
1 6		2310	(5	0.00					
1 7		1480	2.3	产业 用	T T P	117 1	15	1. 168	13.	
8		18/14	12 1		. 715	7	65	Énte	+	
9				-						
1		11 6 35		-					-	
1		-	17	-	- 3	-			-	
	2 オオシマトビケラ		10	750	550	Pin	SH U	TV =	-	
水 1		1								
質 1		5					SULTA SECTION			
階 1			Mr per				(0		
級 1		70.0		2012		-			1 10	
п 1				Anie ve	7 7	- 1-		4	N =	
1		10世	K.V.	di Tu	183	DJ SI	I CO	Ç TILIYG	elle.	
1	THE RESERVE THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED I	340	1753	AJ.J.	N EL	14.4	I H	(A)		
水 2		สมศา	100		lo k	+4 1			1	
質 2	1 タニシ		0			•				
階 2	2 ニホンドロソコエビ							-		
級 2	3 ヒル						(5		
ш 2	4 ミズムシ	N. 94	1	731	YES	e Artis	C			
水 2	5 アメリカザリガニ					140000000				
質 2	6 エラミミズ	न्य	TYS あり 類状まる				てもまりかりませる			
階 2	7 サカマキガイ		A STATE OF THE PARTY.			0				
級 2	8 ユスリカ					0				
IV 2	9 チョウバエ	18.18	STATE THE STATE OF ST					0		
水質階級 水質階級		I	П	m	IV	I	П	Ш	IV	
0	1. ○印と●印の個	数 1	1	1	0	1	3	4	4	
判为	2. ●の個数	0	1	0	0	0	1	1.	0	
11/26	3. 合計 (1+2)	1	2	1	0	1	4	5	4	
この	地点の水質階級は		П		です		Ш	です	-	

●一番目、二番目に多かったもの

愛媛県皿ヶ嶺・筒上山の植物 (その1)

第6支部(北浦自然観察会) 永井要明

2021 年 5 月 22 日(土)、北浦自然観察会 8 名は 5:00 に萩市中央公園を出発し、愛媛県の皿ヶ嶺に向かった。皿ヶ嶺は県立自然公園である。

皿ヶ嶺登山口に着いたのが 11:00 頃だった。登り始めると間もなくクマガイソウの花が有った(上左)。この山には自生地もあるが、自生地のクマガイソウがかなり盗られたので、愛媛県が登山道の傍に植えたものだそうである。このように比較的よく見えるところに植えておけば自生地まで入って盗ったりしないだろうという考えのようだ。一方では多くの人に見に来て欲しいという事情もある。愛媛県の自然保護関係者の苦心の表れのような気がした。シコクカッコソウも有った(上右)。花は終わってしまったようで葉だけである。サクラソウ科の植物で花はきれいである。花を見たい人は

インターネットで検索すると出てくる。

ギンバイソウも有るが花はまだ咲いていない。風穴のところに行くとヒマラヤの青いケシ(メコノシプス ペトニキフォリア)という外国の植物が穴の中に植えられており、まだ蕾だった(中左)。これも花は美しいと言われており、興味のある人はインターネットで検索していただきたい。

風穴から左上方に歩いて行くとヤマブキソ ウの花が咲いていた(中右)。

サワルリソウも有ったが未だ蕾である(下左)。九州のサワルリソウは白花が多いが、シコクのサワルリソウもシロバナの様な気がする。

バイケイソウもある。花はもう少し先だ(下 右)。









葉の裏がかなり白いナワシロイチゴの仲間が有った。イシヅチイチゴのようだ(下左)。







かなり東へ水平に歩いた。大きな

岩が出てきてイワタバコが有った(上中)。カジカエデも有る(上右)。



龍神平から大きく右折して南に進み、六部堂コース分岐から左折して、 13:30 に皿ヶ嶺山頂(1270, 5m)に着いた。記念写真を撮った(左)。

帰りは六部堂コース分岐から引地山の方へ行く道を選んだ。引地分岐から風穴への道を下って行った。15:10には風穴の駐車場に着いた。17時少し前に土小屋の国民宿舎石鎚荘に着いた。

この日の宿泊者は私達 9 人(車の運転手 1 名を含めて)と合わせて 20 人だったそうである。コロナ対策として食事は時間差をもうけて、他の宿泊者とはずらしてある。

翌日23日(日)は6:10 には出発 した。先ず岩黒山(1745,6m)を目指 した。天気は大変良く石鎚山がくっ きり見えた(左)。上り坂にツクバネ ソウがかなりある(右)。





7:15 に岩黒山山頂に着いた。東の方に瓶ヶ森、伊予富士、笹ヶ森が見える。その向こうには更に高い山も見える。三嶺や剣山だと思う。瀬戸内方面には霞があるがその他は大変よく見える。これから行く筒上山も南方にくっきり見える。梅雨の時期にこれほど天気が良く、遠くがよく見える日は10日に1度くらいだと思う。大変ラッキーだ。

令和3年度 第4回役員会議事録

日 時 令和3年9月5日(日)10:00~11:00

場 所 下松中央公民館

•出席 7名(黒田、大田、蔵田、増野、松原、平田、植田)

議 題 ①令和4年度定時総会について 2支部担当

11月21日(日)10時~ 上関町総合文化センター

· 10:00~10:30 定時総会

・10:30~11:30講演 ニホンアワサンゴについて

講師 藤本 正明氏

• 13:00~15:00 植物観察会

講師 真崎 久氏

②みどりの風編集会議

- 版は、当面はB5とする。
- 「みどりの風」は、「機関誌」に統一。会の規約に表記。 会誌、会報とは呼ばない。

③その他 一個 西国 山土 一

- · 次期役員会 11月 7日(日)下松中央公民館
- ・会計監査 10月30日(土)クリーンサポートヒラタ

≪ 編集後記 ≫

秋号をお届けします。8~9 月にかけて秋雨前線が発達して日本列島にも大きな影響を与えました。梅雨をもう一度経験したようでした。

地球温暖化に起因する気象現象は私達の生活 に様々な影響を及ぼすようです。

いよいよ秋を迎えますが、コロナ禍なので出かけるのを控えようと思っていらっしゃる方もいる事でしょう。

会員の皆様もコロナに関しては、基本的な対策をしっかりして頂きまして、無理のない範囲で活動に取り組んでほしいと思っています。(U)

山口県自然観察指導員協議会機関誌 <みどりの風>

- ■発行 山口県自然観察指導員協議会会長、大田和彦 〒744-0043 下松市東陽 2-2-5 Tel(Fax)0833-46-0103
- ■機関誌編集長 植 田 髙 弘 〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21 Tel(Fax)083-258-2706